

## 物価高を上回る賃上げを～適切な価格転嫁を目指して～

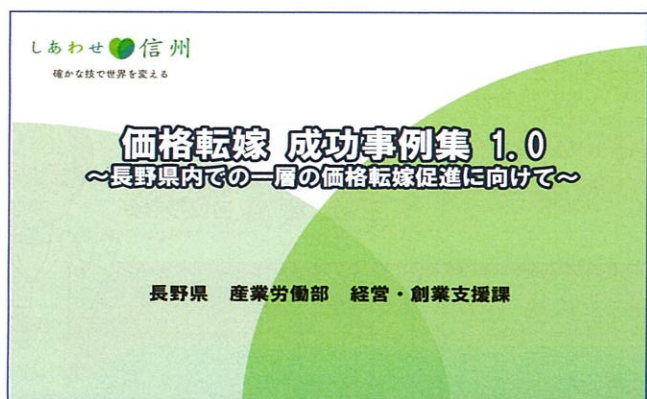
現在、国を挙げて物価高を上回る賃上げの実現に取り組み、大企業では一定の成果が見られるものの、これを中小企業まで広げていけるかが課題です。

賃上げを実現するには、適切な価格転嫁が欠かせませんが、「価格交渉の方法がわからない」、あるいは「価格交渉をすることで取引がなくなってしまうのでは」と、価格交渉することを諦めている中小企業もあります。

そこで、公明党県議団では先進事例の視察などを行い、知事への緊急要望や議会質問で、価格転嫁の具体的な取組を県に提案し2つの政策を実現しました！

### 価格転嫁の成功事例集

価格転嫁交渉に成功した県内企業の実践内容や受けた支援の内容を成功事例集として作成！チャレンジする企業に大いに参考になります。

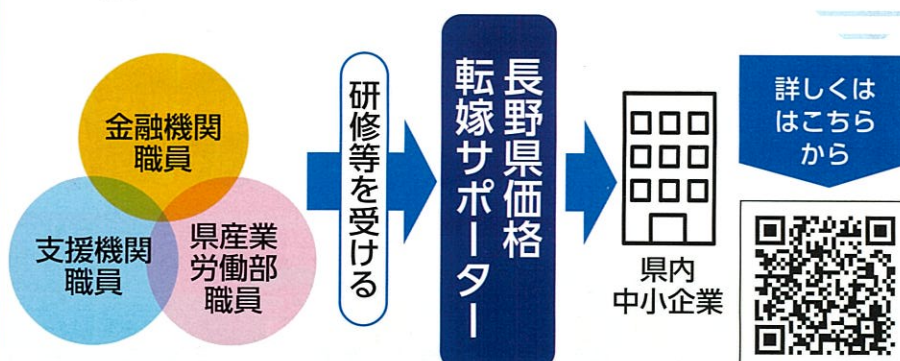


詳しくは  
はこちら  
から



### 価格転嫁サポーター制度

県内の金融機関や商工団体の職員で研修を受講した方々を「長野県価格転嫁サポーター」として認定する制度を創設。価格転嫁サポーターは、各事業者を訪問し、価格転嫁の取組を支援してくれます。



詳しくは  
はこちら  
から



### 現場の声を聴く！

#### 文京区青少年プラザ「b-lab」視察

9月8日

開設から10年。開設準備段階からの地道な取組が功を奏し、利用者が増加傾向にあるユースセンター「b-lab」を川上、勝野、勝山議員が視察。施設利用を通じて、進む方向を見つけたり、ボランティアに取り組むといった好循環も生まれているとの事です。また、施設運営には、**子どもにとって話しやすい環境を作っていける人材が重要だ**との指摘は大変印象的でした。



### 現場の声を聴く！

#### ユースセンター「まるいち」視察

9月8日

清水議員と加藤議員が、富士見町のユースセンター「まるいち」を訪問。好きな事にチャレンジしたり、ゆっくり過ごしたり、時には支援員の方とおしゃべりしたり…。とにかく自由に過ごせる中高生の第3の居場所。ふらっと気軽に立ち寄れるのも魅力です。**元気づくり支援金を活用しながら**、県内各地にこうした施設を増やしていけたら、思いを新たにしました。



### 現場の声を聴く！

#### 神奈川県庁、東京都庁 視察

9月9日

神奈川県庁では、高齢化が進み役員の担い手不足との声を受けて始めた県営住宅における「**共益費徴収制度**」について、東京都庁では、大規模災害時にも、都民が健康を害する事がないよう、快適なトイレ使用を可能にするための計画「**東京トイレ防災マスタープラン**」について伺いました。いずれも住民の目線に立って発想されている姿勢を、大いに学ばせていただきました。



令和8年度  
予算要望

### 知事に来年度予算要望を実施

10月10日、公明党県議団で阿部知事に対し、来年度予算に向けての政策要望を行いました。

若者の奨学金返還支援策として、奨学金返済額の一定割合について減税や給付等による負担軽減、高校生や大学生などがバスや電車などの公共交通を低額で利用できる「学生パス」の創設など24項目にわたり、皆様からいただいた切実なお声を踏まえ要望しました。阿部知事からは、提案した課題について、一つ一つ丁寧に回答をいただきました。

政策の実現に向け、県議団5名一致団結して、議会質問などを通じ、今後も全力で粘り強く取り組んでいきます。



公明党長野県議団の  
情報



ホームページ



X  
(旧ツイッター)

# 清水じゅんこ 長野県議会だより

2025  
秋号

## 皆さんの声を県政に届けます ～定例議会 一般質問から～

### ① 物価を上回る賃上げ実現のために 価格転嫁の実現を図る取組について

**Q1** 現在の価格転嫁支援は、業種横断型が中心であり、一律の支援では転嫁が難しい業種や従業員10人未満の小規模事業者への効果が限定的である。

**A1** 4月の調査では、小売業や飲食業で価格転嫁できた割合は4割程度、業種全体が6割程度であるのに対して相対的に低くなっている。今後は、業種や費目ごとに分析し、課題解決につながるセミナー等を開催していく。

**Q2** 金融機関等の職員による事業者への支援策の浸透を図るプッシュ型の情報発信を行なうとしているが、価格転嫁サポーターとして県の認証を行なう制度をつくったらどうか。

**A2** 金融機関サイドから、全ての職員が事業者へ価格転嫁を促せるよう、分かりやすい配布用広報物や研修会の開催等の要請を頂いている。ご提案の「価格転嫁サポーター制度」について研究し、制度の創設をしていきたい。



### ② 「女性に選ばれる長野県」の実現について

**Q1** 女性デジタル人材育成が県内市町村で進められているが、県全体への横展開が必要である。また、育成した女性人材をマッチングする出口戦略を進めるべきと考えるが。

**A1** 令和5年度から市町村への勉強会、好事例を広げる支援を行なっている。また、育成された人材と企業のマッチングを「地域就労支援センター jobサポ」で行ない、企業での業務の切り出しを支援し、それを業務委託できるよう支援体制を整えている。

**Q2** 県内企業・市町村・教育機関と連携強化し、「女性に選ばれる長野県」のブランド戦略を構築するべきと考えるが。

**A2** 女性から選ばれるように内実を磨いていくことに併せて、しっかり県内外の女性の皆さまに我々の取組が積極的に発信していくことが必要ではないかと思う。女性が活躍をしている、女性が働きやすい職場である、こうしたことをより積極的にアピールできるように取り組んでいきたい。

一般質問の内容は右記のQRコードより  
視聴できます。ぜひ、ご覧ください。



## 主な活動の報告

### 知事との意見交換

会派を代表して、地域の皆さんからいただくお声から課題を伝える大事な機会です。災害級の猛暑が続く中、災害時の避難所となり得る学校体育館の空調設備の設置について県のバックアップを強く求めました。



### 「県地震防災対策強化 アクションプラン」 現状を確認



令和6年度から9年度までの4年間で集中取組期間と定めたプランの進捗についてお聞きしました。避難所運営や備蓄品、災害発生直後の3日間のトイレ設置の初動にむけた確保と環境整備などについて、危機管理担当課との意見交換を行いました。

### 危機管理建設委員会質疑

深刻な人材不足を乗り越えるための建設業の生産性向上にむけた「建設DX」の取組状況と今後の計画について、地域に根差した防災リーダーとして活躍する「防災士」の人材育成と活用のしくみづくりについて質疑・提案をさせて頂きました。



### 「佐久平女性大学」講座に参加

女性があらゆる分野で活躍するためのエンカレッジ教育の取組。1年間の在学期間で知識や技能の向上を目指し、10回の講座を学びます。地域に住む女性同士の学びあいと繋がりがづくりのとても素晴らしい機会となっています。



### 上小建設産業連合会の役員の方々と懇談



各団体の抱える課題を丁寧に説明を頂きました。特に人手不足や事業量の減少は深刻です。地域のインフラ整備や地域防災の要となる建設業の抱える現場課題をお聞きしました。災害に強い地域づくりを進めるためにも問題提起を参ります。

### 放課後の子どもの居場所「ひこうせん」視察

富士見町において、地域で子どもの放課後の居場所づくりの活動内容をお聞きしました。子どもたちは宿題をしたり、遊んだり自由に過ごせる居場所。「学び・遊び」にとどまらず、地域資源と繋がる学び・体験型活動にも広がっています。



連絡先

お気軽に、ご意見ご要望お聞かせください

所在地 ▶ 〒386-1102 上田市上田原707-3 クラエンタービル104号

☎ ▶ 0268-75-7279 F A X ▶ 0268-75-7706  
e-mail ▶ shimizu.jyunko@orange.plala.or.jp



長野県議会議員

# 川上のぶひこ 県議会だより

2025年 秋号

9月定例会一般質問及び委員会質疑、その他活動を紹介します

一般質問の様子はこちらをご覧ください→



## 一般質問：1. ユースセンターの設置促進について

### 川上質問

ユースセンターの設置に当たっては、中高生など若者主体の運営となるようニーズの把握と事前の協議が重要であり、県は市町村等にアドバイスをを行うことが必要と考えるがいかがか。

### こども若者局長答弁

若者の成長や社会参画の拠点となるユースセンターが県内各地で、若者が関わる中で設置されるよう、先進的なユースセンター関係者や、ユースセンター支援に実績のあるNPO法人と連携して、市町村等への支援強化に取り組む。

### 川上質問

ユースセンターの設置には若者に寄り添い、若者の活動を支えるユースワーカーの確保・育成が重要である。県ではどのように取り組んでいくのか伺う。

### こども若者局長答弁

市町村等と連携して、ユースワーカー希望者等を対象とした研修会の開催や交流の機会の拡大などの取り組みを進める。

### 川上質問

ユースセンターの設置には地域住民の理解と協力が不可欠と考える。子ども達が大人と交流し地域振興などにも資する拠点にしていくべきと考えるがいかがか。

### こども若者局長答弁

ユースセンターは若者の居場所であると同時に、若者と地域住民が交流することで、地域に新たな賑わいと活力をもたらす拠点としての役割を担うものと考えており、今後、機能や役割等についても検討を進める。



### 川上質問

若者の社会参画の促進について、長野県として今後どのように取り組むのか伺う。

### 知事答弁

長野県には意欲、能力に溢れた若者が大勢いると思っているが、主体的に行動できる場面が極めて少ないと感じている。ユースセンター設置を促進するとともに、県の意思決定に関連しては、審議会等にぜひ若い世代をどんどん入れていきたいと思う。



## 一般質問：2. トイレ防災対策について

### 川上質問

自助・共助の促進として携帯トイレ・簡易トイレの備蓄について現状をどのように捉えているのか。また今後、周知・広報を更に進める必要があると考えるがいかがか。

### 危機管理部長答弁

災害発生時最初の3日間を乗り切るためには、県民1人ひとりに自宅で備蓄を進めてもらうことが非常に重要であるが、十分な理解が進んでいないため、今後幅広い世代に向けSNSやテレビCM等広報を進める。

### 川上質問

民間事業者への補助により導入したトイレカーやトイレトレーラーは災害時に速やかに避難所や被災地に設置や配置する仕組みであると聞いているがどのように対応する予定か。

### 危機管理部長答弁

発災時にトイレカーなど有効な車両を速やかに派遣するため、国により、平時からデータベース化する災害対応車両登録制度が本年6月にスタートした。これらを活用し、災害時に県の要請に基づき被災地へ運搬する仕組みを構築する。

## 9月定例会産業観光企業委員会質疑



### 産業労働部

①価格転嫁促進アクション(第2弾)について、②米国関税措置の県内企業への影響について質問。

### 企業局

①信州大学が進めるアクア・リジェネレーションに関して、大学との連携、地域企業・産業との連携、南信州モデルとしての展開について質問。

### 観光スポーツ部

①宿泊税を活用して取り組む施策について、②「世界の持続可能な観光地 TOP100 選」への選出について、③信州やまなみ国スポ・全障スポの開催について質問。

## 知事下伊那西部地区訪問同行・価格転嫁サポートセミナー



8月7日

知事の下伊那西部地区訪問に同行。根羽村の地域交流拠点「シラネバ」、平谷村の多世代交流拠点「ひらひら平谷」の後、阿智村の「満蒙開拓平和記念館」にて、高校生等展示ガイドの皆さんと意見交換。自分の家族や現在の国際情勢を踏まえ、戦争について自分の意見を堂々と述べる姿に感動しました。

10月17日

飯田市にて県主催の「価格転嫁サポートセミナー」に出席。物価高騰や人手不足でコスト負担が増加し中小企業の経営を圧迫。そんな中「価格交渉の仕方がわからない」「適正価格の算出方法がわからない」などの声に対応し、県では県内各地で専門家を招き価格転嫁交渉のポイントを学ぶセミナーを開催。今後は、金融機関や商工会議所、商工会などの協力のもと研修を受講していただいた職員を「価格転嫁サポーター」として認定し、事業者を訪問し情報提供等により価格転嫁を推進します。



【お気軽にご意見、ご要望をお聞かせください】 ☎395-0152 飯田市育良町2丁目20-3

☎0265-48-5258 FAX.026-403-2220 e-mail/kawakami.nobuhiko0728@gmail.com

公明党長野県議団YouTubeチャンネルは  
こちらをご覧ください→



# 加藤やすはる通信

## 県議会一般質問での質疑をご紹介します。

今年の夏も大変な暑さになりましたが、来年以降も猛暑が続くことを想定して、熱中症対策をしっかりと行っていく必要があります。6月議会では熱中症対策について質問しました。

### 質問 高齢者の熱中症対策について

昨年5月から9月の熱中症による救急搬送人数は全国で10万人近くにのぼり、長野県内でも1000人を超える方が搬送されている。このうち、65歳以上の高齢者が約6割を占めており、重点的な対策が必要と考えるが、県内の高齢者世帯に対する熱中症対策の状況について伺う。



### 答弁 【健康福祉部長】

これまで、民間企業や市町村等と連携して熱中症対策の広報や高齢者への見守りと呼びかけてきたが、今年度は、新たに高齢者への支援を担う市町村職員等を対象とした熱中症対策セミナーを開催したほか、**高齢者にも身近なコンビニエンスストアにおける広報や県の公式SNSによる発信により、広く県民への啓発を行うこと**としており、高齢者に熱中症予防を実践いただけるよう取り組んでいく。

### 質問 県のリーダーシップによる熱中症対策の取組

他県では官民学連携の熱中症対策会議が行われている例もあるが、本県においても市町村や民間企業などと連携して、県がリーダーシップをとって取り組むべきではないか。

### 答弁 【知事】

命と健康を守るため、熱中症対策は非常に重要な取組だと考えている。各部局にまたがる熱中症対策を改めて見直し、不十分な点があれば一層の充実を図っていく。また、**県の取組を分かりやすくパッケージ化して、県民や事業者、関係の皆様にしかりお示していく**。加えて、市町村や関係事業者の皆様にも、必要な協力や対応を県としても改めてお願いし、県全体で熱中症対策が一層充実するように取り組んでいきたい。



### 質問 熱中症警戒アラートの県民への周知

熱中症警戒アラートが発表された際に県民の具体的な行動につながる取組が重要と考える。県民への周知の現状をお聞きするとともに、警戒アラートをより多くの方に周知するため、県が運用している信州防災アプリを活用すべきではないか。



### 答弁 【危機管理部長】

熱中症警戒アラートが発表された場合には、テレビ、ラジオ等による周知が行われているほか、防災行政無線や有線放送など、様々な広報媒体を活用して周知に取り組んでいる。



また、信州防災アプリは県民への周知に効果的な手段の一つであると認識しており、**来年度の気象庁の防災気象情報の見直しに合わせ、熱中症警戒アラートの通知機能を組み込むことについても検討していきたい**。



### 岡田川排水機場竣工式に出席

長野市篠ノ井地域を流れる岡田川は6年前の台風災害でも内水氾濫が発生し、甚大な被害となりました。

排水機場の完成により、流域住民の皆さんの安全度が向上します。

粘り強く取り組まれた期成同盟会をはじめとする地元住民の皆さんや建設に携わられた関係者の皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。

(6月2日)



### 総務企画警察委員として

県議会では分野ごとに委員会が設置されており、私は今年度、総務企画警察委員会に所属し、副委員長をさせていただいています。

8月27日から2日間、中南信地域を調査。このうち塩尻市では自動運転バスの実証実験の状況を調査しました。

交通の利便性向上や交通事故の減少、移動手段の確保につながることを期待されています。



### 県道の現地調査

毎年秋になると、地元地域の皆様と長野市篠ノ井地域の県道や県が管理する河川の現地調査を行っています。

長野市篠ノ井を通る県道清野篠ノ井停車場線（辰巳新道）は、小学校の通学路になっていながら歩道がなく危険性が指摘されていましたが、期成同盟会の皆様の長年の取組や沿道の皆様のご協力などにより、昨年度から歩道の整備が始まりました。一日も早い完成を目指していきます。(9月17日)



一般質問の動画は右記のQRコードより視聴できます。是非ご覧ください。



R7.6月  
定例会



公明党  
長野県議団  
YouTube

【お気軽にご意見、ご要望をお聞かせください】

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田868-10 松屋ビル1階

☎ 026-214-3793 ・ FAX 026-403-4936 E-mail: kato-y@ngn.janis.or.jp

一般質問



一般質問 配信映像



6月定例会 9月定例会



マイナ免許証について

6月定例会

■ 勝野 ■

県民に分かりやすく周知を！

■ 県警本部長 ■

わかりやすい広報に努める。

長野県警察本部 運転免許関係 →

■ 建設部長 ■

住宅の耐震改修促進を！

6月定例会

■ 勝野 ■

本年度が最終年となった「長野県耐震改修促進計画(第Ⅲ期)」および「県地震防災対策強化アクションプラン」の目標達成見込みと促進策並びに耐震改修向けリバースモーゲージ住宅ローンへの見解は？

■ 建設部長 ■

令和5年の調査結果を踏まえると目標達成は難しい状況。本年の実績を取りまとめた結果を基に、市町村と協議しながら次期計画を策定する。また、紹介された住宅ローンは、手元資金が無い場合でも改修が実施しやすい制度として期待されている。県内では千曲市1市が今年7月から取り扱う。耐震改修の加速化を図っていく。



長野県で住宅の耐震化をお考えの方へ ↑

交通空白地区への支援を！

6月定例会

■ 勝野 ■

県内の「交通空白」地区調査結果と解消の取組みは？

■ 交通政策局長 ■

26市町村60地区(公表を望まない市町村を除く)が「交通空白」に該当。令和7年度から9年度において、解消の取組みを強化する。具体的には、北陸信越運輸局と連携し、すべての市町村への個別ヒアリングを実施し、地域に応じた課題解決の方向性を検討する。

■ 勝野 ■

県営住宅の共益費を県徴収可能に！

9月定例会

■ 勝野 ■

東京都や神奈川県などでは、希望する団地について自治会に代わって共益費を徴収する制度を実施している。現在の共益費の徴収課題について検討を進め、長野県でも県が徴収できる制度を設けては？

■ 建設部長 ■

現在9都府県で自治体が共益費を徴収している。県が徴収することについて、メリットとデメリットがある。県として研究していく。

■ 勝野 ■

生徒の全国大会等への出場旅費等の補助拡大を！

9月定例会

■ 勝野 ■

文科系部活動の大会出場旅費等への県の補助率が体育系と比べてかなり低い。現状認識と今後について。また、令和5年度に要望した補助対象拡大と新補助制度の創設への考えは？

■ 教育長 ■

県高等学校文化連盟と連携して検討する。また、新補助制度の創設は、現場の声を聞きながら適切に判断していきたい。



環境部への主な質問項目



教育委員会への主な質問項目

環境文教委員会審議 (7月・10月)

1 太陽光パネルのリサイクル処理業者について

リサイクル処理業者は、県内に現在、諏訪市と豊丘村の2業者あり、中野市でも進出予定あり。

2 使用済み紙おむつのリサイクルについて

全国では21自治体でリサイクルを実施。県内には未だないが、上田市の業者がモデル的に行っている。

3 長野県太陽光発電初期費用ゼロ円モデル普及促進事業について

〜くらしふと信州発の官民共創事業〜「つなぐ信州ゼロ円ソーラー」 3 →

4 県犀川安曇野流域下水道事務所と南安曇農業高校との下水汚泥肥料化について

実用化に向けて県として取り組んでいる。どうしたら使用してもらえるか本年2月に委託業務を。

5 食品ロス削減の取組み

「信州食べきりキャンペーン」(10/1~12/31)を今年度新たに実施。

信州食べきりキャンペーン 5 →

1 高等学校文化振興事業交付金

2 中学校・高等学校体育大会選手団派遣補助金

3 長野県高等学校等奨学金制度

長野県の奨学金制度 3 →

4 教員の欠員状況と対策

5 教育現場のデジタル化

6 県立高校入学者選抜における定員内不合格

7 小中学校における男女に配慮した環境整備

8 県「ICT・ATリソースセンター」

(肢体不自由児や知的障害などがある児童生徒の学習を情報通信技術などで支援)の状況と子どもたちの卒業後の支援

9 県立盲学校における歩行訓練



# 勝山ひでお 県政レポート

長野県議会議員

VOL.5  
.....  
2025 秋号



## 現場第一! ひたむきに走る



### 高校生の自転車事故防止へ

～「マナーアップ」と「ヘルメット着用」の推進



## 9月定例会 一般質問

### 地域・学校・警察の連携を

### 高校生の着用率は26.9%



高校生の自転車事故防止に向けて、交通マナーの向上とヘルメット着用の推進について質問しました。

### 高校生の事故は全体の1/3

【勝山】R7年8月末までの県内の自転車事故は319件でそのうち高校生が104人。来年度から16歳以上を対象に自転車の交通違反に「青切符制度」が導入されます。若者への周知と事故防止対策が急務です。



【勝山】全国の先進事例を紹介して次のような具体策を提案しました。

- ・通学時間に警察・PTA・地域が協力する「合同街頭指導」
- ・自転車通学を「許可制」とし、違反時は許可を取り消す。
- ・生徒が自作する「交通安全啓発動画コンテスト」や「優良校表彰制度」。

【県民文化部長】出前講座や啓発活動を行うなど高校生のマナー向上に努めてきた。



今後も警察や学校と連携し制度の趣旨を丁寧に周知し、マナー向上に努める。

【勝山】自転車事故を起こした県内高校生のヘルメットの着用率は26.9%。

「命を守るための啓発を徹底すべき」と訴えさせていただきました。「見た目がダサい」「髪型が崩れる」といった理由で着用をためらう高校生もいるので、ヘルメットデザインコンテストや整容スペースの設置を提案させていただきました。

【教育長】生徒がヘルメット着用の抵抗感を軽減できるような環境整備について学校現場と研究する。



一般質問の動画は右のQRコードよりご視聴になれます。是非ご覧ください。



9月定例会

6月定例会

### 県民文化健康福祉委員会での質疑

#### 県立美術館 駐車料金の柔軟対応を要望

【勝山】展覧会を主催する団体から「駐車代金の負担が大きい。」と伺いました。主催者の長時間利用に対して「無料または割引対応も検討すべき」と質問。

【文化振興課長】利用者の立場に立ち、事務局で可能な限り柔軟に対応していく。

【勝山】長野市開発公社とも連携し、より利用しやすい運営を要望。

#### ユースセンター設置の拡大を

【勝山】若者の「第三の居場所」として注目されているユースセンターの整備状況を確認。

【こども若者次世代課長】茅野市「CHUKO らんどチノチノ」や須坂市「coto²」など先進事例を紹介。今年度は元気づくり支援金の重点政策として設置促進を支援中。

【勝山】「ユースセンターを経験した若者が地域のリーダーに育つ可能性がある。県内に広く普及を」と要望。



#### 県立総合リハビリテーションセンター 移転へ調査開始

令和元年台風19号で浸水した現施設の安全確保の為、県営駒沢新町第二団地跡地で地籍調査を実施中。



【勝山】正式に移転が決まったら、近隣の市立長野高校や高専との交流を行っていただきたい。また、サンアップルとの連携や交通アクセスの配慮を求める。

【障がい者支援課長】教育機関との連携も視野に検討する。